

亥(い)の子祭(まつり)

校区(こうく)の東の高田(たかた)地域(ちいき)のお祭(まつ)りとして古(ふる)くから親(した)しまれています。

毎年、12月に行われる別名(べつめい)「あばれ祭り」とも言われています。当日は、神様へのお供(そな)えものを子どもたちが激(はげ)しく奪(うば)い合います。奈良県の無形民俗文化財(むけいみんぞくぶんかざい)にも指定(してい)されていて、子どもたちの健(すこ)やかな成長(せいちょう)や五穀豊穰(ごこくほうじょう)を祈願(きがん)します。その年、激しく暴(あば)れれば暴れるほど、豊作(ほうさく)だと言われています。



亥の子祭り



豊作を願(ねが)って子どもが暴(あば)れる